

2013.8.20

SPODフォーラム2013

愛媛大学

改革戦略のつくり方序論①②

福 島 一 政

自己紹介

福島 一政

<職歴>

- 1972年4月 日本福祉大学に就職(この後、庶務・経理・学生・施設課の業務に従事)
- 1989年6月 総務課長(この後、研究情報部長・教学事務部長・学園事務局次長・財務部長を歴任)
- 2001年4月 常務理事・大学事務局長(～2009年3月)
- 2003年4月 学長補佐・執行役員(～2009年3月)
- 2009年3月 日本福祉大学を定年退職
- 2009年4月 日本福祉大学 学園事業顧問(～2013年2月)
学校法人東邦学園 理事(～2013年3月)
名城大学大学院 大学・学校づくり研究科非常勤講師(現在に至る)
- 2010年4月 愛媛大学 監事(～2012年3月)
- 2012年4月 愛媛大学客員教授(現在に至る)
- 2012年4月 福井大学 監事(現在に至る)
- 2013年3月 追手門学院大学 副学長(現在に至る)

<その他役職>

- 1996年5月 日本私立大学協会大学教務研究委員会委員(～2008年3月)(2004年6月～2008年3月 副委員長)
- 2003年12月 特定非営利活動法人NPO愛知ネット評議員(～2013年3月)
- 2005年9月 大学行政管理学会会長(～2007年9月)
- 2007年4月 大学マネジメント研究会理事(～2013年3月)(2011年4月～2013年3月同研究会副会長)
- 2008年4月 文部科学省「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」ペーパーレフェリー(～2008年7月)
- 2008年4月 大学行政管理学会SDプログラム検討委員会委員長(～2010年6月)
- 2008年4月 読売新聞「大学の實力」調査・企画委員(現在に至る)

<著作等>

- 「学生の意欲を引き出す大学職員の役割」2011年12月(Between241)
- 『大学経営論－実務家の視点と経験知の理論化－』2010年5月(日本エディタースクール出版部)
- 「大学のユニバーサル化とSD－大学職員の視点から－」『高等教育研究第13集』2010年5月(玉川大学出版部)所収
- 「私立大学の現状と課題」『私立大学マネジメント』2009年4月(東進堂)所収
- 「プロフェSSIONALな大学職員の養成」2007年7月(「大学と学生」第43号) 等

本講義の到達目標

- 1.戦略と課題の関係を目的と手段の関係と認識することができる。
- 2.自大学の強みや弱みなどの分析ができる。
- 3.改革戦略実現マップをつくることができる。

講義の内容

- 1.戦略と課題の関係
- 2.SWOT分析
- 3.成果体系図(戦略マップ)の作成
- 4.事業企画書
- 5.まとめ

1.業務改革とは

- これまでの業務内容では
業務目的が実現できない場合(ムリ)
財政効率が悪い場合(ムダ・ムラ)
- 大学のミッションや大学内外の環境変化によって新規事業を立ち上げる必要がある場合

2.成果を挙げるための手法

戦略的思考と行動

必要性から思考せず、選択と集中へ

- 1) 内部環境・外部環境の分析
SWOT分析等
- 2) ミッション・ビジョンの策定
- 3) 成果体系図の作成
- 4) 事業企画書の作成

3.業務改革を確実に進めるには

- 何のための業務か(目的)
- 何のための改革か(戦略性)
- 環境分析を集团的に行う(客観性と説得性)
- 目的と手段の関係を入れ替えない
- 「高み」を持った目標設定(先進性)
- プロジェクトないしチームで協働する(普遍性)
- 財源を明示し幹部を巻き込む(実現性)
- 外部のシンクタンクに依存しない(自律性)

4.取組の成果とは

- 目標達成
- 戦略的思考のプロセス
- 改革への視点の明確化
- トップマネジャーからの信頼
- 職場風土の改良
- 同僚・上司からの賞讃と嫉妬
- 業務姿勢の変容

5.SWOTとは

- Strengths(強み)
- Weaknesses(弱み)
- Opportunities(機会)
- Threats(脅威)

6.成果体系図(戦略マップ)

別紙

- ミッション、ビジョンを実現するために目的・手段の関係をわかりやすく体系化する

7.事業企画書

別紙参照

(参考)P・F・ドラッカーの5つの質問

- (1) 大学の使命は何か？
 - (2) 大学にとって顧客や関係者は誰か？
 - (3) 顧客は何を望んでいるか？
 - (4) 大学は顧客や関係者をどんな状態にしたいのか？(われわれの成果は何か？)
 - (5) 大学は今後どうあるべきか？
- * P・F・ドラッカー『非営利組織の「自己評価指標」』
を参考に、大学に当てはめて方向性を探った